

授業科目	*栄養治療学 I				実務家教員担当科目	○	
単位	2.	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	渡邊 和美						
授業概要	<p>医療機関に従事する管理栄養士は、栄養サポートチームの一員として栄養管理を担う。適切な栄養管理は、治療の促進、合併症発現の抑制、入院期間の短縮、ひいては、医療費の削減に繋がることになり、重要な業務といえる。</p> <p>本科目では、実務家教員として傷病者の病態や栄養状態に応じた適切な栄養管理 (Nutrition Care Process)を行うために必要な、各疾患の成因・病態、治療法ならびに具体的な栄養管理方法について解説し、学生が修得することを目標とする。各疾患における栄養食事療法の意義と目的、栄養アセスメント法、栄養ケア計画の作成、栄養ケア実施後のモニタリング法ならびに栄養ケア・マネジメントの評価法について解説する。医療・介護制度やチーム医療における管理栄養士の役割について理解することで、国民の健康維持・疾病からの回復に大きな役割を期待されていることを認識し、管理栄養士としての資質を身につけることを目標とする。</p>						
授業形態	講義・演習	授業方法	アクティブラーニング (PBL、グループワーク、反転授業)				
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養診断、介入計画、モニタリングの意義および方法を理解し、説明できる。(DP1-2, DP1-2)</li> <li>2. 栄養補給法の種類、特徴および適応疾患を列挙できる。(DP1-2, DP1-2, DP5-1, DP5-2, DP5-3)</li> <li>3. 各疾患の成因・病態・治療法を理解し、治療のための具体的な栄養管理方法を説明できる。(DP3-1, DP3-2)</li> <li>4. 各疾患の栄養ケア計画を作成し、栄養ケア実施後のモニタリング法、栄養ケアの評価法を説明できる。(DP1-1, DP1-2, DP2-1, DP3-1, DP3-2, DP4-1, DP4-2, DP5-1, DP5-2, DP5-3)</li> <li>5. 各疾患の治療のための栄養管理方法として、具体的な調理のポイントを説明できる。(DP1-1, DP1-2, DP2-1, DP3-1, DP3-2, DP4-1, DP4-2)</li> <li>6. 薬剤と栄養・食物との相互作用を説明できる。(DP1-1, DP1-2, DP2-1)</li> <li>7. 各疾患の栄養管理を理解したうえで、個人対応できる。(DP1-1, DP1-2, DP2-1, DP3-1, DP3-2, DP4-1, DP4-2, DP5-1, DP5-2, DP5-3)</li> </ol>						
理想的レベル	標準的レベル1~7の全てを達成したうえで、知識に関しては、より詳細かつ丁寧に説明できる。さらに、修得した知識を応用して、さまざまな疾患の栄養管理方法を具体的に提示できる。						
評価方法・評価割合							
評価方法	評価割合 (数値)			備考			
試験	70%			国家試験に準拠した傷病者の栄養治療に関するもの			
小テスト	10%			栄養ケアプロセス、栄養治療、検査値など			
レポート	20%			糖尿病食品交換表・腎臓病食品交換表を使用した栄養価計算			
発表 (口頭、プレゼンテーション)							

レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT21802J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 (時間)	
予習：該当部分について教科書で確認する。 復習：該当部分を理解する。										4	
授業計画											
第1回	<p>テーマ：オリエンテーション、疾病治療の基礎、意義と目的</p> <p>授業の概要について説明し、その履修方法や授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する。</p> <p>疾病を理解するための基本を理解する。</p> <p>参照ページ：p.1-30</p>										
第2回	<p>テーマ：管理栄養士の役割</p> <p>医療・介護保険制度に基づいて傷病者、要介護者および障がい者の栄養管理の実践および活動を理解する。</p> <p>地域包括ケアシステム、緩和ケア、チーム医療、リスクマネジメント、薬物と栄養・食事の相互作用を理解する。</p> <p>参照ページ：p.31-56</p>										
第3回	<p>テーマ：栄養ケアプロセス</p> <p>栄養診断用語、栄養ケアプロセス（NCP）の手順や記録方法を理解する。</p> <p>参照ページ：p.57-87</p>										
第4回	<p>テーマ：血液系疾患、運動器系疾患</p> <p>疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。</p> <p>参照ページ：p.268-287</p>										
第5回	<p>テーマ：栄養障害、精神・神経疾患</p> <p>疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。</p> <p>参照ページ：p.103-117 p.252-267</p>										
第6回	<p>テーマ：代謝・内分泌系疾患 I</p> <p>疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。</p> <p>参照ページ：p.118-141</p>										
第7回	<p>テーマ：2型糖尿病治療食の実際【演習】</p> <p>疾患概要、糖尿病食品交換表を使用した1食分の栄養価計算（レポート提出）</p> <p>参照ページ：糖尿病食品交換表すべて</p>										
第8回	<p>テーマ：消化器系疾患</p> <p>疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。</p> <p>参照ページ：p.142-164</p>										

第 9 回	<p>テーマ：消化器・循環器系疾患、小テストを実施（栄養ケアプロセス、栄養治療、検査値など） 疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ：p.164-191</p>
第 10 回	<p>テーマ：腎・尿路系疾患 I 疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ：p.192-223</p>
第 11 回	<p>テーマ：慢性腎臓病食、血液透析食の実際【演習】 疾患概要、腎臓病食品交換表を使用した 1 食分の栄養価計算（レポート提出） 参照ページ：腎臓病食品交換表すべて</p>
第 12 回	<p>テーマ：高齢期疾患 疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ：p.355-368</p>
第 13 回	<p>テーマ：悪性腫瘍、周術期 疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ：p.230-244</p>
第 14 回	<p>テーマ：栄養投与法 疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ：p.88-102</p>
第 15 回	<p>テーマ：身体・知的・精神障がい者、総括 疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ：p.317-323</p>
テキスト	<p>塚原丘美編：日本栄養改善学会「第 7 巻臨床栄養学 Nutrition Care Process に沿った傷病者の栄養管理」（医歯薬出版株式会社）ISBN：978-4-263-72034-9 鈴木純子編：新版臨床栄養学 栄養ケアプロセス演習—傷病者個々人の栄養ケアプラン作成の考え方—（株式会社同文書院）ISBN:978-4-8103-1508-0 日本糖尿病学会編：「糖尿病食事療法のための食品交換表(第 7 版)」(文光堂) ISBN：978-4-8306-6046-7 黒川清監修：「腎臓病食品交換表(第 9 版)」(医歯薬出版) ISBN：978-4-263-70674-9</p>
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	<p>必要に応じて、資料を配付する。</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>レポートや小テストは評価して返却する。</p>

「生化学」「疾病診断治療学」「病理学」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」で修得した知識を必要とします。特に疾患の成因・病態および治療法（「人体構造機能と疾病の成り立ち」等）に関する知識を必要とします。

栄養治療学はこれまで学んできた「生化学」「疾病診断治療学」「病理学」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」等を基に、管理栄養士として必要な実践的な栄養ケアの知識を学ぶものです。

これらの科目を復習するとともに、シラバスを参照し、講義内容について、予習して毎回の授業に臨んでください。特に2型糖尿病や慢性腎臓病などの栄養治療には食事療法が欠かせません。糖尿病食品交換表や腎臓病食品交換表の使用方法について具体的に解説します。日頃から食生活の中で、食品や料理に細心の注意を払い、食べ物を味わう心を磨いてください。